

## 第11回天気予報研究会の開催と講演募集のお知らせ

第11回天気予報研究会を下記の要領で開催します。

**日時：**2014年2月14日（金）13時30分～17時30分

**場所：**気象庁講堂（予定）

**要旨：**今年の冬は寒気の影響により北日本から西日本にかけて寒冬となり、北日本日本海側を中心に記録的な積雪となった。一方、太平洋側も低気圧の通過時にはまとまった雪が降り、大雪となった日もあった。特に本年1月14日は発達する南岸低気圧の通過により関東地方で大雪になり、首都圏を中心に交通マヒ等が起り社会的な問題となった。

このため、今年度の研究会では本年1月の関東地方の降雪について、首都圏に大きなインパクトを与えた14日の大雪を中心に大雪の予報と気象急変時の監視と伝達について議論する。

降雪時のモデルの特性、実況監視を含めた予報の修正の可能性、予報を利用する立場から、現状での利活用と外れた場合のリカバリー、情報を伝える立

場から予報が大きくふれた場合の伝達や可能性のある現象をどのように伝えるかを検討する。

関係各分野からの講演を広く募集します。

### 講演申し込み要領：

応募締め切り：2013年10月31日（木）

講演者氏名、所属、題目、要旨（400字以内）、連絡先（電話、住所、E-mail アドレス）を添えてお申し込みください。

### 申し込み・問い合わせ先：

下山紀夫

E-mail：n-shimoyama@nifty.com

**主催：**天気予報研究連絡会

**運営委員：**伊藤みゆき、黒良龍太、小池仁治、  
下山紀夫（代表）、登内道彦、平松信昭、  
吉野勝美